

早期景気観測調査

【8-9月期 調査結果概要報告書】

平成27年10月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成27年9月15日(火)～30日(水)
4. 調査対象： 当所会員155事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 106件
7. 有効回答率： 68.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8－9月期の動き】

業況 DI は悪化に転じるも、 向こう3ヶ月の先行きには明るさが見られる

8-9月期の全業種総合業況DIは▲17.9と悪化に転じた。2-3月期から6-7月期の前3期の業況DIは比較的高い水準に留まっていたが、今期は前期比▲10.4ポイントと大幅に悪化した。各項目では売上、仕入単価、金融貸出しDIがそれぞれ2期連続で悪化した一方、採算DIが▲15.1と前期から8.3ポイント改善した。従業員DIについては10.4（前期比+2.0ポイント）と、前回から僅かに不足感が強まっている。

また、先行きについては業況DI▲5.7と大幅な改善を見通しており、売上、採算、仕入単価の各項目も今期からの改善を示すが、人手不足の傾向は強くなる見通し。

業種別では建設業のみ前期から改善したが、製造・卸売・小売業では悪化、サービス業では横ばいとなった。

建設業の業況DIは▲30.0（前期比+13.8ポイント）と4期ぶりに業況が改善。売上・採算・仕入単価の各DI値もマイナス値ではあるが、前期より改善した。中でも仕入単価DIは▲25.0（前期比+25.0ポイント）と同業種の同項目ではここ一年で最も高い数値となった。

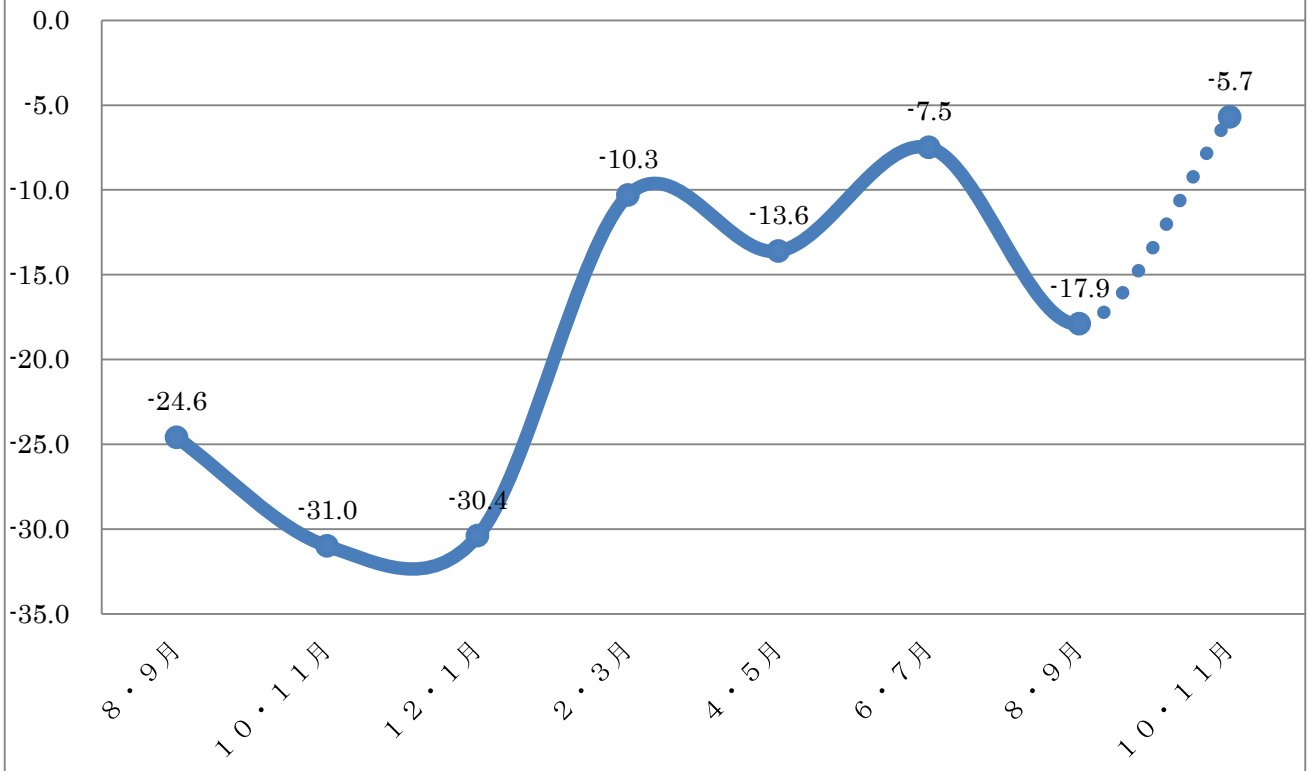
製造業の業況DIは▲23.1と前期から26.7ポイントの大幅な悪化となった。売上DIは▲26.9（前期比▲23.3ポイント）、採算DIは▲23.1（前期比▲19.5ポイント）と大幅に落ち込んだ。

卸売業の業況DIは5期ぶりに悪化した。25.0と、プラス局面を維持（前期比▲6.3ポイント）。各DI値も仕入単価を除きプラス値となっている。しかし、3期ぶりの悪化となった仕入単価DIは▲31.3（前期比▲6.3ポイント）と他の項目と比較して依然として低い水準。また、従業員DIは31.3（前期比+12.5ポイント）と人手不足感が常態化しつつある。

小売業の業況DIは▲51.9（前期比▲18.6ポイント）と悪化に転じ、全業種中最も低い数値となった。売上（▲36.7→▲55.6）・仕入単価（▲40.0→▲59.3）・金融貸出し（▲3.3→▲3.7）DIはそれぞれ2期連続の悪化で、売上・仕入単価の悪化幅もおおよそ20ポイントずつと大きい。

サービス業の業況DIは17.6と2期連続で横ばい。卸売業と同じく仕入単価DI（▲41.2）のみがマイナス値の低い水準にあるものの、売上・採算の各DI値は前期から改善している。従業員DIは17.6→23.5と人手不足の傾向が強まっている。

業況D I の推移








◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について



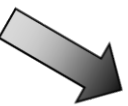



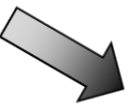
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.9	▲5.7	▲20.8	▲15.1	▲39.6	10.4	0.0

8-9月期の全業種総合の業況D I は、**▲17.9** (前期比-10.4ポイント) と悪化に転じた。売上 (▲14.0→▲20.8)、仕入単価 (▲39.3→▲39.6)、金融貸出し (0.9→0.0) の3項目は2期連続の悪化だが、仕入単価、金融貸出しは小幅な悪化に留まっている。依然として仕入単価D I は低水準を推移しており、仕入単価の高止まりが覗える状況。また、従業員D I については8.4→10.4と人手の不足感が若干強まった。

業況の先行きに関しては、改善を見込んでいる。

◆ 業種別





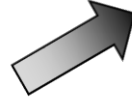


製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲23.1	▲3.8	▲26.9	▲23.1	▲34.6	▲3.8	▲7.7

業況DIは3.6→▲23.1と大幅に悪化し、マイナス局面に転じた。今期は全業種の中で最も悪化幅が大きく、売上(▲3.6→▲26.9)・採算(▲3.6→▲23.1)の各DI値も大きく落ち込んだ。一方、仕入単価DIは前期より改善(▲39.3→▲34.6)しているが、まだまだ低水準を推移している。従業員・金融貸出しDIは共に2期連続の悪化となった。

向こう3ヶ月の業況については改善の見通し。

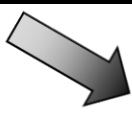
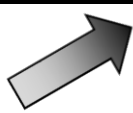
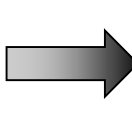
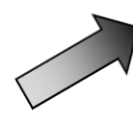
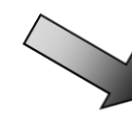
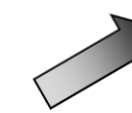
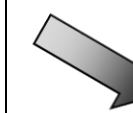
建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲30.0	▲25.0	▲35.0	▲30.0	▲25.0	10.0	5.0

業況DIは▲30.0(前期比+13.8ポイント)と4期ぶりに改善した。今期の調査で業況が改善となったのは5業種の中で建設業のみ。金融貸出しDIは前期から若干の悪化となったが、金融貸出しを除く他の項目では前期から改善している。売上DIは2期連続(▲50.0→▲35.0)、採算DIは3期ぶりに改善(▲50.0→▲30.0)。仕入単価DIは▲50.0→▲25.0と大幅な改善に転じている。従業員DIは前4期において不足傾向から改善してきたが、今期において不足傾向へ転じた。

向こう3ヶ月の業況は改善を見通す。

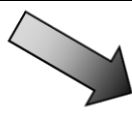
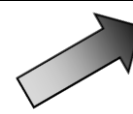

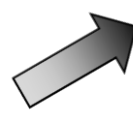
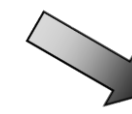
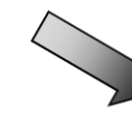
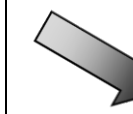
卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
25.0	31.3	12.5	18.8	▲31.3	31.3	12.5

業況 DI は31.3→25.0と5期ぶりに悪化へ転じた。売上 DI は前期から横ばいの推移となっているものの、採算 DI は▲25.0→18.8と大幅に改善している。一方で、仕入単価 DI は▲25.0→▲31.3とマイナス幅が拡大。従業員 DI は不足傾向が常態化しつつあるものの、今期において18.8→31.3と大幅に不足傾向へ転じている。

向こう3ヶ月の業況は改善に転じる見込み。

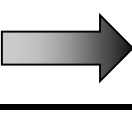
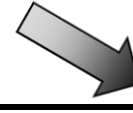
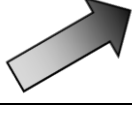
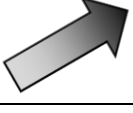
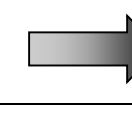
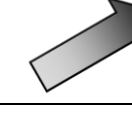

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲51.9	▲22.2	▲55.6	▲37.0	▲59.3	3.7	▲3.7

業況は▲51.9（前期比▲18.6ポイント）と悪化に転じ、全業種中最も低い水準となった。今期は売上、仕入単価 DI がそれぞれ前期から約19ポイントの大幅な悪化となった。改善となった採算 DI も▲40.0→▲37.0と未だ水準は低い。従業員の不足感は前期より改善しているものの、金融貸出し DI は悪化となった

向こう3ヶ月の業況は改善の見込み。

サービス業

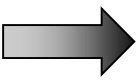





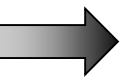
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
17.6	5.9	29.4	17.6	▲41.2	23.5	0.0

業況 DI は17.6と2期連続で横ばい。4期連続のプラス局面維持となった。売上（前期比+11.8ポイント）、採算（前期比+17.6ポイント）各 DI はそれぞれ改善に転じ、大きくプラス幅を拡大したが、仕入単価 DI は業況 DI と同じく2期連続の横ばいで、業況改善の足かせとなっている事が覗える。従業員 DI は23.5（前期比+5.9ポイント）と前期から人不足の傾向が続く。金融貸出し DI は前期から横ばい。


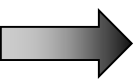


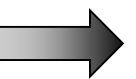
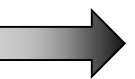
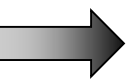
向こう3ヶ月の先行きは悪化を見通す。

◆ 業種別詳細







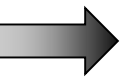
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


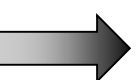



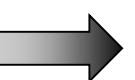
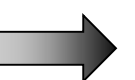
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


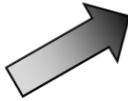
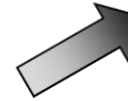
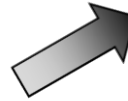
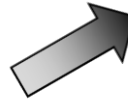
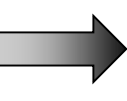
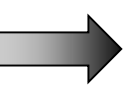
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



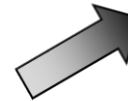
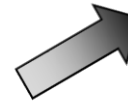
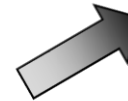


建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

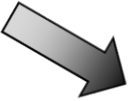
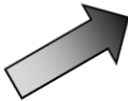
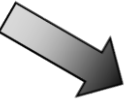
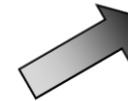



建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



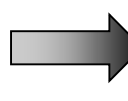
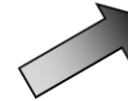
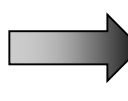
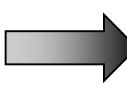
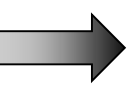
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



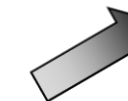
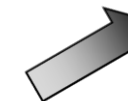
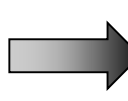

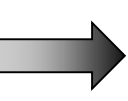
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


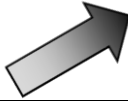
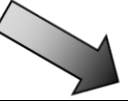

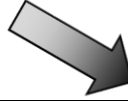
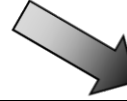

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

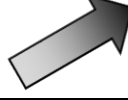
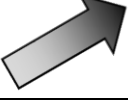
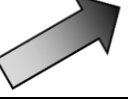
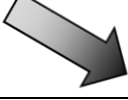
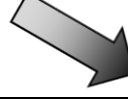

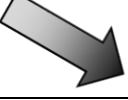
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



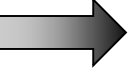
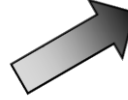
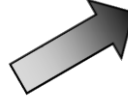


小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







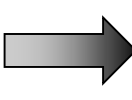
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







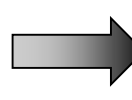
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





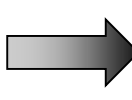

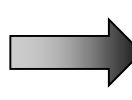
サービス (ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・例年に比べ夏休み中のバスの乗客が減少したことにより、売上高も減少。これから観光シーズン、新酒仕込みの季節になる。特定銘柄酒については昨年より売上高が増加していることもあり、少しではあるが来年に向けて明るい兆しも見える。
- ・おせち食材の需要が増大。早めの9月出荷、10月以降の発注も10%増。関東、東京中心のレストラン外食チェーン食材が好調。

製造業（家具）

- ・業況・売上・採算は前年同期比で▲3%程度だが悪化とした。また、向こう3ヶ月の業況・売上・採算についても、見通しがつかないので一応悪化とした。株価や為替の変動と同じように、中小企業の立場から今後の判断をするのは非常に難しい。

製造業（工業製品）

- ・県内外企業から新規発注機能の動きはあるものの、世界の流れ、業界の激しい変動が考えられる為読みにくい。
- ・工作機械メーカーが6月後半？からストップ。自動車産業は普通、運送ともにまだ上昇せず。
- ・スマートフォン需要により、業況好転の兆しは見えてきたが、厳しい環境下は継続している。

製造業（宝飾）

- ・宝飾業界においては、消費税の引き上げから景気の先行きが不透明な状況が続いている。中国企業の成長鈍化も今後どう影響するか心配。

製造業（ニット・アパレル）

- ・数量が圧倒的な中国生産商品の市場価格が、為替レートの変動で大幅に価格上昇。国内市場の変化に伴い大量生産型の商品から中高価格帯の小ロット生産型の商品への移行も感じられ、国内向けオーダーが増えつつあるのではないかと考えている。

【建設業】

建設業（建築）

- ・多少良くなっている。
- ・昨年の反動か？小規模物件が多い中、競争が激しい。県内市場規模の限界が感じ取れる。
- ・個人的には新規の工事が始まる為、売上は上がると思うが、採算はよくなる。全体的には良い見通しは無い。家電関係では物品の販売ではどうしようもなく、工事がらみでなんとか・・・。

【卸売業】

卸売業（食品）

- 水産業界においては輸入品が全体の 40%までになり、円安と、海水面の上昇からくる漁獲の減少により魚価高が続き、厳しい状況が続いている。
- 売上高は昨対で微減、気温も下がりお菓子が売れるシーズンに入る為、8、9月よりは売上、採算共に好転の予測です。

卸売業（その他）

- 8月、9月新製品の導入と、社内レート125円より円高による粗利貢献。

【小売業】

小売業（食料品）

- 材料の仕入れ単価の上昇により、大変厳しい経営状況。

小売業（趣味・日用品）

- インバウンド効果により売上増。
- 昨年は増税の影響により売上減、その為今期は好調。
- 都市部の一部では高額品が売れていると聞きますが、地方ではインバウンド効果は全くない。

【サービス業】

サービス業（ホテル）

- 9月はふるさと旅行券やプレミアム商品券の利用が多い。
- 国内観光客の動きが鈍い。
- 人材不足。
- 我々のような小さな旅館でも国内からの観光客、ビジネス客、南アルプスに登山で来る外国人（ドイツ・フランス・オーストラリア・台湾・韓国等）、大学の山岳部等で順調だった。9月に入ってもシルバーウィークは早いうちから予約が入り、市内殆どの宿泊施設は満室。当日の空室が無いが窓口に来たり、電話での空きを調べる等断るのに気の毒と思われる程だった。特に19~22日の観光客はゴールデンウィークをはるかに上回るものだった。

サービス業（観光）

- 人手不足に変わりなし。
- 団体の観光客は例年より少ないようだ。
- 8月は南アルプス登山バスの前年通行止めからの回復、9月はシルバーウィークによる前年比増。仕入れ単価は軽油単価の低下による。
- 盆休みやシルバーウィークといった長期休暇の好天により売上が上昇した。ただ9月前半は悪天による大幅な客数の減少が見られ、大幅な利益の増加とはならなかった。

サービス業（飲食その他）

- 当店は飲食店で主力商品が「うなぎ」の為、8月は残暑が長引き多忙であった。9月は雨が多く、涼しい日が続いたため、夏の反動で暇な日が多くなった。
- 夏の最需要期には上昇しなかった仕入れ値がここにきて上がってきた。供給業者も需要期が過ぎて品不足になってきたのだろうか。
- 食料品などの値上げにより、外食業界での個人消費は依然低迷中。

以上